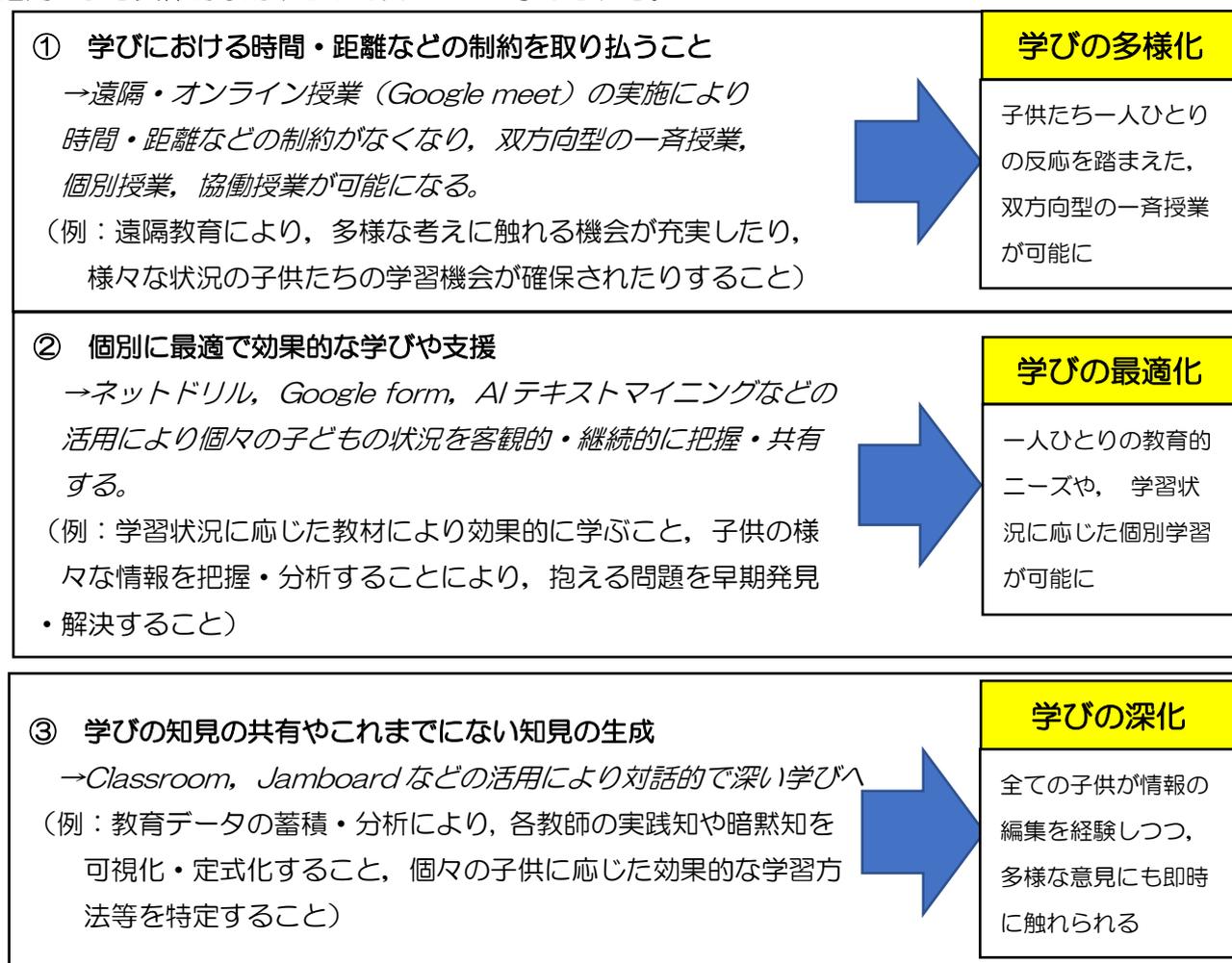


GIGA スクール構想（1人1台の情報端末の活用）で高める学力

長崎市立三原小学校

公正に個別最適化された学びを実現する上で、ICT環境を基盤とした先端技術や教育ビッグデータの活用による具体的な効果として次の3つが挙げられる。



新学習指導要領においては、初めて「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力と位置付け、教科等横断的にその育成を図るとともに、その育成のために必要なICT環境を整え、それらを適切に活用した学習活動の充実を図ることとしており、情報教育や教科等の指導におけるICT活用など、教育の情報化に関わる内容の一層の充実が図られた。

そこで本校では

【情報活用能力の育成について】

- これまでの情報活用能力の育成 → 多様な情報から、必要（正確）な情報を選択し、それを使って自分なりの表現を行う。 （思考力・判断力・表現力等）
- 学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力 → 情報端末を「道具」として使いこなせるように （知識及び技能）
- 学校における情報モラル教育 → 情報を有用に扱うためのマナー・ルール・しつけの習得（引用を行う際のきまり、著作権・肖像権・個人情報などの法の遵守） （学びに向かう人間性等）
- 情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント
→ どの教科と関連させながら、何の単元で、何を使って、何を身に付けさせるか。

具体的には…

以下のようなことができるようになるよう、活用を進め、情報活用能力向上に努める。

写す	つながる	
<p>観察記録・動きの確認</p> <p>「カメラ」で写真・動画をとって</p> <p>①体育で動きの確認 ②生活科・理科で観察記録</p>	<p>専門家とオンライン学習</p> <p>「Meet」を参加し、専門家や外部の人とオンライン学習を行う。</p>	<p>友達と意見交換する</p> <p>Jamboardで</p> <p>①付箋等を使ってプレストを行う。 ②道徳で心のものさしを使う。</p>
調べる・集める		提出する
<p>検索・資料の収集</p> <p>「検索」で</p> <p>①調べ学習（社会、総合的な学習など） ②素材、アイデアのヒントをゲット。（生活科、図工）</p>	<p>情報媒体を選んで活用</p> <p>Chromebook でインターネットを検索，図書館で本を使って調べる，国語辞典，辞書を使って調べるなど目的，時間，場所などに応じて，情報媒体を選んで活用する。</p>	<p>Google form 等に答えて提出</p> <p>道徳などの授業のアンケートや課題に答えて，Classroom の担任に提出する。</p>
伝える		
<p>ミニプレゼンテーション</p> <p>1～3年生はロイロノートを使って，生活科の観察日記や自分の成長をミニプレゼンテーションする。</p>	<p>リアルタイムで感想を共有</p> <p>Jamboard で，付箋などを使いながら，感想や意見の交換，共有を行い，考えを深める。</p>	<p>プレゼンテーション</p> <p>Google スライドで，目的をもって，相手をはっきり意識して，調べた内容，自分の思いを発表する。</p>
創る		
<p>描画ツールでイラスト作成</p> <p>描画ツールを使って，図工，生活科などでお絵描きや色遊びを行う。</p>	<p>クラウド上で同時編集</p> <p>Google ドキュメントやスプレッドシート，スライドなどを使って，共同編集作品作りを行う。</p>	<p>プログラミング</p> <p>Web サービス「Scratch」を使って，プログラミング的思考力を高める。</p>
個別最適化		保存する
<p>ドリル学習ソフト</p> <p>※次年度以降実施予定</p>	<p>AI 型教材</p> <p>次年度以降実施予定</p>	<p>クラウドにデータを保存</p> <p>作成したデータを「ドライブ」に保存する。</p>